

# 機能性化粧品開発のための処方技術と応用事例

**講師： 鈴木 敏幸氏 ニッコールグループ**  
(株)コスモステクニカルセンター執行役員、東京理科大学 客員教授

化粧品の訴求と機能は、生活社会環境の変化と科学技術の進歩に対応して進化している。明確なコンセプトの設定と、それを保証する機能の発現、使用時の実感が不可欠である。本セミナーでは化粧品、トイレットリー製品の技術動向を概説したのち、処方技術をささえる「乳化・分散」「界面活性剤・液晶・ゲル」の基礎を解説する。さらに長年の実務経験から選んだ、「スキんケア、ベースメイク、クレンジング」におけるユニークな機能発現の具体例と処方技術を紹介する。

## 【講師経歴】

1976年 日本大学大学院理工学研究科修士課程修了。

1976～2009年 花王(株)にて長年化粧品の研究開発を担当。化粧品の開発を長年担当、2002年より同社パーソナルヘルスケア研究所長。2009～2011年 エスエス製薬(株)取締役を経て、2011年4月より現職。

## 【活動】

主な受賞：国際化粧品技術者会(IFSCC パリ大会)最優秀論文賞『液晶乳化』(1982年)、日本化学工業協会技術賞『合成セラミドの開発と化粧品への応用』(1992年)、米国化粧品技術者会(SCC)最優秀論文賞『Liquid Crystal Make-up Remover』(1993年)、日本化学会化学技術賞『合成セラミドを主成分とする生体脂質類似皮膚化粧品料の開発』(1993年)、国際化粧品技術者会(IFSCC 横浜大会)優秀論文賞『細胞間脂質のマルチラメラエマルジョン』(1993年)など

著書：『エマルジョンの科学と実用乳化系の特性コントロール技術』(情報機構)

共著：『乳化技術と乳化剤の開発』(シーエムシー出版)、『機能性乳化剤・乳化技術の進歩と応用展開』(シーエムシー出版)、『最新・界面活性剤応用技術』(シーエムシー出版)、『ゲルテクノロジー』(サイエンスフォーラム社)、『エマルジョンの新しい高安定化手法』(技術情報協会)、界面活性剤の機能創製・素材開発・応用技術(技術教育出版社)、『化粧品開発のための美容理論、処方/製剤、機能評価の実際』(技術教育出版社)ほか

開催日時	2017年5月25日(木) 13:30～16:30	【会場】
受講料	42,000円(税込) ※資料代含 *メルマガ登録者 39,000円(税込) *アカデミック価格 35,000円(税込)	ちよだプラットフォームスクウェア 503 会議室 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21

★2名同時申込で両名とも会員登録をさせていただいた場合2人目は無料です。★アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。★【セミナー対象者】化粧品、トイレットリーおよび関連素材開発企業の技術者、商品開発部門担当者、製造部門の技術者(初級～中級)★【セミナーで得られる知識】1化粧品、トイレットリー関連技術・訴求・素材の変遷と動向/2乳化、分散、界面活性剤、ゲル、液晶の基礎知識と応用技術/3処方の組み方と機能賦与の方法4実用場面でのトラブル例と対処法

## 【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

- |  |  |
|--|--|
| <p>1 化粧品・トイレットリー製品を取りまく環境</p> <p>1.1 生活社会環境の変化と市場動向、消費者の意識は？</p> <p>1.2 科学技術の変化と訴求、素材、技術の変遷と動向は？</p> <p>2 処方を支えるソフトマターと乳化・分散の基礎</p> <p>2.1 化粧品に用いられるさまざまな製剤(スフとマター)</p> <p>2.2 ここをおさえれば界面活性剤が理解できる</p> <p>2.3 両親媒性分子がつくる会合体：ミセル、液晶、ベシクルリポソーム</p> <p>2.4 エマルジョンの基礎：生成と安定化、ナノエマルジョンとマイクロエマルジョン</p> <p>2.5 化粧品エマルジョンの処方構成とその読み方</p> <p>3 フォーミュレーション技術と最適条件の見極め方</p> <p>3.1 相図の読み方と使い方：界面活性剤の性能を知る、最適乳化・可溶化条件を選ぶ</p> <p>3.2 ナノエマルジョンと高内相ゲルエマルジョン;液晶、</p> | <p>D相マイクロエマルジョンの応用</p> <p>3.3 注目のαゲル製剤：液晶との違い、安定化の方法</p> <p>4 機能性化粧品の処方技術</p> <p>4.1 皮膚、毛髪を守るための乳化・分散技術</p> <p>4.1.1 皮膚、毛髪の構造とスキんケア/ヘアケアの基本</p> <p>4.1.2 生体類縁脂質(セラミドやリン脂質)を用いたマルチラメラ型エマルジョン</p> <p>4.2 メイクアップ、UV化粧品における皮膚親和技術</p> <p>4.2.1 ベースメイク、UV化粧品における使い心地と持続性の両立</p> <p>4.2.2 うるおい、ツヤ持続口紅における分散技術</p> <p>4.3 生活環境、メイクトレンドから生まれたクレンジング料</p> <p>4.3.1 自己乳化型液晶ジェルと両連続(bicontinuous)マイクロエマルジョン</p> |
|--|--|

弊社記入欄		<b>セミナー申込書</b>	
セミナー名		<b>機能性化粧品開発のための処方技術と応用事例</b>	
所定の事項にご記入下さい		会社名(団体名)	TEL :
メルマガ会員、登録希望の場合は○↓		住所 〒	FAX :
			E-mail :
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
お支払方法		銀行振込・その他	氏名
			お支払予定
			2017年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (re@cmcre.com) でお申し込みください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧いただけます。⇒ <http://www.cmcre.com>

**参加申込 FAX 番号**  
**03-3291-578**